

第70回東葛しぜん観察会

新緑の森を訪ねる

高木喜久雄（松戸市）

日 時：5月8日（日）9時30分～12時 天気 晴れ

場 所：千葉大学園芸学部～浅間神社（松戸市）

参加者：一般34名、指導員18名

担当指導員：瀬谷 昭、高橋 節、高木喜久雄、田中玉枝

そこに松戸を代表する素敵な緑があることは分かっているのに何となく近づきがたい。そんな千葉大学園芸学部のキャンパス。堂々と入れるチャンスということか、定員をオーバーする参加者があり、しかも少し汗ばむくらいの最高の陽気。

1909年に千葉高等園芸学校として開学。先年に100周年を迎えた園芸学部のキャンパスはその歴史を思わせる巨木がいたるところにあるし、園芸学部らしい珍しい木々や庭園も楽しめます。

入り口の門の脇にはエリナ。これがツバキの仲間とは知る人ぞ知る。今も60数種類もの樹木で構成される生垣＝混ぜ垣、イタリア式庭園、フランス庭園、イギリス庭園と続きます。ユリノキの大木がひどく低いところで枝下ろしをされていて、かわいそうな姿。しかし、これがフランス庭園を広く見せるための手法とかで、いかにも園芸学部と納得したり…。このどこが庭園？という林相庭園。ほぼ自然のままの林の形の庭園です。レンガ造りの旧正門の表面にはセメントをはがした後が残り、あまり美しくありません。アメリカ軍に門を隠したとか、レンガの供出から逃れるためにセメントを塗って隠したとかの説があり、100周年を記念してセメントをはがしたのだと。各所の巨木も、豊かな緑も100年の歴史の秘密をす～と見続けてきたことなのでしょう。

千葉大から数分歩いて浅間神社へ。ここは千葉県が天然記念物に指定する極相林。松戸のような市街地に残る珍しい存在です。残念ながら、東北大震災の被害で、鳥居から先へは行けませんでした。

参加者の感想

- ① 夫が千葉大園芸学部に行ってみたいと云っていたので参加しました。私は何十年振りでしたでしょう、初めて見る樹、大きな木に感動しました。説明してくださる方々も良く分かるように気を使つていただいて大変勉強になりました。歩くのが遅い夫にも気を使って頂いて有りがとうございました。また、参加したいと思います。
- ② 普段見慣れた樹木でも場所により風情が違い、とても楽しかったです。
- ③ プルヌスナルキフォリア：初めて知りました。色々な草木があり、季節ごとに来たいなあと思いました。なかなか名前を覚えられませんが、観察楽しみです。
- ④ こんな身近な所に極相林があったことにびっくりしています。自然観察の楽しさ、ありがとうございます。

